



子ども誰でも通園制度事業実施に係るアンケート

## 調査結果

令和 8 年 1 月

旭川市子育て支援部こども保育課

## 目次

I 調査概要

II 利用者アンケート調査結果

## I 調査概要

---

### 1 調査の目的

令和7年度に実施された「こども誰でも通園制度事業」（以下「本事業」とする）について、利用者の意向や運用上の課題を調査・分析し、今後の制度設計及び事業運用に反映させることを目的とする。これにより、本市における子育て環境のさらなる向上を図る。

### 2 事業の概要

「こども誰でも通園制度」は、保育所などに通っていない0歳6か月から満3歳未満の子どもが、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わずに柔軟に利用できる新たな通園給付制度である。この制度は、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化する目的で創設され、令和8年度から子ども子育て支援法に基づく新たな給付として本格実施予定である。本市は、これに先行して令和6年度は「試行的事業」、令和7年度は「地域子ども・子育て支援事業」として本事業を実施している。

#### （1）利用者登録の状況（利用前に市に申請し、利用者登録をする必要がある）

- ・令和7年11月4日までに登録した人数（140名）

#### （2）施設の利用状況

- ・令和7年10月末までの利用件数：383件
- ・令和7年10月末までの総利用時間数：1010.5時間

### 3 調査の対象、調査期間および方法

- （1）調査対象： 令和7年11月4日時点を利用登録済の保護者（140名）
- （2）調査期間： 令和7年11月13日～12月10日
- （3）調査方法： 対象者に対して郵送で依頼し、インターネット上のアンケートフォームから回答を受け付けた。

## II 調査結果

---

1 回答数 68人/140人（回答率 48.6%）

### 2 質問及び回答

Q1. この制度をどこで知りましたか（複数選択可）

- (1) 商業施設や公共施設などに置いてあったポスターやチラシを見た
- (2) LINEやSNS (3) 市や保育所等のホームページ
- (4) 友人、知人などからの情報 (5) 乳幼児検健診で配布されたチラシを見た
- (6) Instagram『あさきっず』（旭川市子育て支援部公式アカウント）
- (7) その他

| この制度をどこで知ったか     | 人数 | 割合   |
|------------------|----|------|
| ポスターやチラシ         | 11 | 16%  |
| LINEやSNS         | 3  | 4%   |
| 市や保育所等のホームページ    | 23 | 34%  |
| 友人、知人などからの情報     | 17 | 25%  |
| 乳幼児検健診で配布されたチラシ  | 19 | 28%  |
| Instagram『あさきっず』 | 1  | 1%   |
| その他              | 12 | 18%  |
| 回答者数             | 68 | 100% |

その他： 保育所等の施設からの案内（4件）、広報誌「あさひばし」（5件）ほか

【考察】 制度を知るきっかけとして「市や保育所等のホームページ」の割合が最も高く34%でした。一方で、SNSやInstagramなどの活用による認知は少ない（5%）ことから、デジタル媒体での周知に一層の力を入れる必要があります。

※（1）について、ポスターやチラシは、どこで見ましたか（複数選択可）

- ア) 乳幼児健診の会場 イ) 地域子育て支援センター、子育てサロン
- ウ) 児童センター エ) 図書館 オ) その他の公共施設
- カ) イオンモール旭川駅前 キ) その他の場所

| ポスター・チラシはどこで見たか    | 人数 | 割合   |
|--------------------|----|------|
| 乳幼児健診の会場           | 2  | 18%  |
| 地域子育て支援センター、子育てサロン | 8  | 73%  |
| 児童センター             | 3  | 27%  |
| 図書館                | 3  | 27%  |
| その他の公共施設           | 0  | 0%   |
| イオンモール旭川駅前         | 0  | 0%   |
| その他の場所             | 1  | 9%   |
| 回答者数               | 12 | 100% |

Q2. 利用登録を行ったのは、どのような理由ですか（複数選択可）

- (1) 親に用事があるときの預け先として
- (2) 子どもが、他の子どもや大人（保育士）と触れ合う場として
- (3) 今後、幼稚園や保育所に入所させたいが、集団生活を体験させてみるため
- (4) ほかの子どもの様子を見たり、保育士からの子育ての助言などを期待して
- (5) 通わせる園を選ぶための参考にしたかった (6) その他

| 利用登録を行った理由          | 人数 | 割合   |
|---------------------|----|------|
| 親に用事があるときの預け先       | 52 | 76%  |
| 他の子どもや大人（保育士）と触れ合う場 | 37 | 54%  |
| 集団生活の体験             | 31 | 46%  |
| 保育士からの子育ての助言        | 9  | 13%  |
| 通わせる園を選ぶための参考       | 9  | 13%  |
| その他                 | 3  | 4%   |
| 回答者数                | 68 | 100% |

その他： 親のリフレッシュ（2件）ほか

【考察】 「親に用事があるときの預け先」という回答が最も多く76%であり、制度の利用目的が実務的ニーズに強く結びついていることが分かります。一方で「保育士からの子育て助言期待」は13%と比較的少ない結果でした。

Q3. 実際に利用はしましたか

- (1) まだ利用していない (2) 利用した

| 実際に利用はしたか | 人数 | 割合   |
|-----------|----|------|
| まだ利用していない | 22 | 32%  |
| 利用した      | 46 | 68%  |
| 回答者数      | 68 | 100% |

Q4. 「こども誰でも通園制度」でこれまでに利用した施設数をご記入ください

- (1) 1か所のみ (2) 2か所 (3) 3か所以上

| 利用した施設数 | 人数 | 割合   |
|---------|----|------|
| 1か所のみ   | 44 | 96%  |
| 2か所     | 2  | 4%   |
| 3か所以上   | 0  | 0%   |
| 回答者数    | 46 | 100% |

Q5. 「こども誰でも通園制度」を利用して、子どもにとってよかったと思う点は何ですか。 (複数選択可)

- (1) 家庭ではできない遊び・活動ができた  
(2) 保育士や他の保護者との交流ができた  
(3) 年齢の近いこども同士の交流ができた  
(4) 他のこどもの様子を見られたこと (5) 特にない (6) その他

| よかったと思う点          | 人数 | 割合  |
|-------------------|----|-----|
| 家庭ではできない遊び・活動ができた | 31 | 67% |
| 保育士や他の保護者との交流ができた | 20 | 43% |
| 年齢の近いこども同士の交流ができた | 35 | 76% |
| 他のこどもの様子を見られた     | 11 | 24% |
| 特にない              | 2  | 4%  |

|      |     |         |
|------|-----|---------|
| その他  | 3   | 7 %     |
| 回答者数 | 4 6 | 1 0 0 % |

その他： 園の様子が知れた(2件)、1歳になる前に利用できて助かった(1件)

【考察】 「年齢の近い子ども同士の交流ができた」（76%）や、「家庭ではできない遊び・活動ができた」（67%）が目立ちます。これらの結果から、遊びや交流による新しい体験が高評価を得ていました。

Q6. 「こども誰でも通園制度」を利用したこと、保護者はその時間をどのように活用することができましたか（複数選択可）

- (1) リフレッシュや休養になった。
- (2) 自分の必要な用事を済ますことができた。
- (3) 家族のために必要な用事を済ますことができた。
- (4) 仕事や勉強、就職の準備に活用することができた。
- (5) 通わせる園を選ぶための参考にできた。 (6) その他

| 制度を利用した時間を<br>どのように活用できたか | 人数  | 割合      |
|---------------------------|-----|---------|
| リフレッシュや休養                 | 2 5 | 5 4 %   |
| 自分の必要な用事                  | 3 5 | 7 6 %   |
| 家族のために必要な用事               | 2 5 | 5 4 %   |
| 仕事や勉強、就職の準備               | 6   | 1 3 %   |
| 通わせる園を選ぶための参考             | 1 2 | 2 6 %   |
| その他                       | 1   | 2 %     |
| 回答者数                      | 4 6 | 1 0 0 % |

その他： 時間が短すぎて何もできなかった(1件)

**【考察】** 「自分の必要な用事を済ますことができた」が 76% と最多であり、リフレッシュ（54%）や家族のための時間確保（54%）も重要な利用目的となっています。

Q7. 「子ども誰でも通園制度」を利用して、不満に思ったことは何ですか（複数選択可）

- (1) 特に不満はない
- (2) 利用開始までの手続きが多い
- (3) 利用開始まで手続きに時間がかかる
- (4) 自宅などの近くに実施施設がない
- (5) 1日当たりの預けられる時間が短い
- (6) 月当たりの利用可能時間（10時間）が少ない
- (7) 利用料金が高く、気軽に利用できない
- (8) 預けた施設の保育内容に不満があった（※よろしければ「その他」欄に具体的な内容を教えてください）
- (9) その他

| 不満に思ったこと          | 人数 | 割合   |
|-------------------|----|------|
| 特に不満はない           | 11 | 24%  |
| 利用開始までの手続きが多い     | 5  | 11%  |
| 利用開始まで手続きに時間がかかる  | 7  | 15%  |
| 自宅などの近くに実施施設がない   | 5  | 11%  |
| 1日当たりの預けられる時間が短い  | 17 | 37%  |
| 月当たりの利用可能時間が少ない   | 26 | 57%  |
| 利用料金が高く、気軽に利用できない | 9  | 20%  |
| 預けた施設の保育内容に不満があった | 1  | 2%   |
| その他               | 9  | 20%  |
| 回答者数              | 46 | 100% |

その他： 当日予約ができないと断られた（1件）、1日に4時間までしか預かってもらえないかった（1件）、預けたい日に受け入れてもらえなかつた（2件）、やむを得ない当日キャンセルも利用可能時間がなくなってしまう（1件）、給食を提供できる園が限られている（1件）、預けるための準備が面倒（1件）、利用していた園が定員になり利用

できなくなった(2件)、預けられる時間が長くなつてほしいが、費用面を考えると一時預かりの方が良い(1件)ほか

【考察】 主な不満として「月当たりの利用可能時間が少ない」（57%）と「1日当たりの預けられる時間が短い」（37%）が挙げられました。

Q8. 引き続きこの制度を利用したいと思いますか（※満3歳到達や保育所入所となり現在は使っていない方は、仮に下のお子さんがいた場合の感想を回答してください。）

- (1) はい (2) いいえ (3) 分からない

| 引き続きこの制度を利用したいか | 人数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| はい              | 41 | 89%  |
| いいえ             | 3  | 7%   |
| 分からない           | 2  | 4%   |
| 回答者数            | 46 | 100% |

Q9. 利用していない理由は何ですか

- (1) 用事があるときに利用しようと登録したが、いまのところ必要がない  
(2) 利用したい日時の予約ができなかった (3) 登録後保育所などに入所をした  
(4) 特段の理由はない（これから利用しようと考えている場合等）  
(5) その他

| 利用していない理由         | 人数 | 割合   |
|-------------------|----|------|
| いまのところ必要がない       | 8  | 36%  |
| 利用したい日時の予約ができなかった | 0  | 0%   |
| 登録後保育所などに入所をした    | 1  | 5%   |
| 特段の理由はない          | 6  | 27%  |
| その他               | 10 | 45%  |
| 回答者数              | 22 | 100% |

その他： 通わせるのが不安になった(1件)、値段の高さから一時預かりを優先(1件)、一時預かりを利用している(2件)、預ける時間が短い(1件)ほか

【考察】 「いまのところ必要がない」 (36%) や「特段の理由はない」 (27%) が多く、利用意向はあるものの現時点での必要性を感じていないという結果でした。

Q10. 「子ども誰でも通園制度」の他に、利用している制度・サービスがあれば教えてください（複数選択可能）

- (1) 一時預かり
- (2) ファミリーサポートセンター
- (3) 認可外保育施設
- (4) 満3歳未満児向けの通園クラス
- (5) 保育所や幼稚園の園開放イベント
- (6) 地域子育て支援センターや子育てサロン
- (7) 他の制度やサービスは、利用していない
- (8) その他

| 他にも利用している制度・サービス   | 人数 | 割合   |
|--------------------|----|------|
| 一時預かり              | 26 | 38%  |
| ファミリーサポートセンター      | 9  | 13%  |
| 認可外保育施設            | 1  | 1%   |
| 満3歳未満児向けの通園クラス     | 4  | 6%   |
| 保育所や幼稚園の園開放イベント    | 25 | 37%  |
| 地域子育て支援センターや子育てサロン | 36 | 53%  |
| 他の制度やサービスは、利用していない | 14 | 20%  |
| その他                | 2  | 3%   |
| 回答者数               | 68 | 100% |

その他： 育児サークル(1件)、今後一時預かりを利用予定(1件)

【考察】 「地域子育て支援センターや子育てサロン」 (53%) と「一時預かり」 (38%) を併用している回答が多く、他制度も併用している利用者が多いことが分かりました。

Q11. 「こども誰でも通園制度」で、改善してほしいと感じたことがあれば教えてください（自由記載）

【回答要約】

① 利用時間に関する改善

- ・月の利用可能時間が短い
- ・1日の利用時間や幅を広げて欲しい
- ・利用時間を延長してほしい
- ・園に通園している上の子と同じ時間にお迎えをしたい
- ・熱などのキャンセルでも時間が減らないようしてほしい
- ・園によっては、申し込みが締め切られていたり、利用可能な時間や日程が限られていて不便

② 施設の拡充と選択肢増加

- ・預けられる施設数を増やして欲しい
- ・施設ごとの差を改善してほしい（給食の有無や定期通園のみなど）
- ・登録できる園数を複数にして欲しい

③ 料金体系の改善

- ・利用料を安くして欲しい
- ・上限ありで無料利用にしてほしい

④ 給食や設備の改善

- ・給食やお昼ミルクを提供をしてほしい
- ・飲食可能にしてほしい

⑤ 予約手続きの簡略化

- ・ネット予約やアプリを導入して、予約をスムーズにして欲しい
- ・電話予約が負担
- ・当日予約も可能にしてほしい
- ・事前面談時の説明が口頭説明だけで不安になった
- ・利用開始までの手順を簡略化してほしい

⑥ 一時預かりとの差別化

- ・一時預かりとの違いが分かりづらい
- ・1歳以降は一時預かりのほうが料金が安いので、誰通利用のメリットを感じられない

⑦ その他

- ・身体測定をしてほしい

**【考察】** 自由記載回答では「利用時間の延長」や「予約手続きの簡略化」「料金の改善」などの要望が目立ちました。

Q12. 「こども誰でも通園制度」での1回あたりの実施時間は、何時間くらいがよいと思いますか

- (1) 1時間未満 (2) 1時間 (3) 2時間 (4) 3時間  
 (5) 4時間以上 (6) 分からない

| 1回あたりの実施時間は何時間がよいか | 人数 | 割合    |
|--------------------|----|-------|
| 1時間未満              | 0  | 0 %   |
| 1時間                | 1  | 2 %   |
| 2時間                | 5  | 7 %   |
| 3時間                | 22 | 32 %  |
| 4時間以上              | 29 | 43 %  |
| 分からぬ               | 11 | 16 %  |
| 回答者数               | 68 | 100 % |

**【考察】** 「4時間以上」(43%)と「3時間」(32%)が多数派であり、長時間の利用ニーズが高いことが分かりました。

Q13. 「こども誰でも通園制度」の実施の時間帯は、どの時間帯がよいと思いますか  
 ※最も利用するのに都合のよい時間を選んでください（複数選択も可）。2時間以上実施した方がよいと思う場合も、複数の選択肢にチェックを付けてください。

- (1) 8:00～10:00 (2) 9:00～11:00  
 (3) 10:00～12:00 (4) 11:00～13:00  
 (5) 12:00～14:00 (6) 13:00～15:00  
 (7) 14:00～16:00 (8) 15:00～17:00  
 (9) 16:00～18:00 (10) 分からない (11) その他

| 実施はどの時間帯がよいか | 人数 | 割合   |
|--------------|----|------|
| 8:00～10:00   | 14 | 21%  |
| 9:00～11:00   | 50 | 74%  |
| 10:00～12:00  | 59 | 87%  |
| 11:00～13:00  | 40 | 59%  |
| 12:00～14:00  | 28 | 41%  |
| 13:00～15:00  | 27 | 40%  |
| 14:00～16:00  | 23 | 34%  |
| 15:00～17:00  | 12 | 18%  |
| 16:00～18:00  | 10 | 15%  |
| 分からぬ         | 2  | 3%   |
| その他          | 2  | 3%   |
| 回答者数         | 68 | 100% |

その他： 7時～15時(1件)、兄弟の参観日や朝イチの通院に利用できる時間帯(1件)

【考察】 「10:00～12:00」や「9:00～11:00」が特に好まれる時間帯で、それぞれ87%、74%の回答を得ました。午前中の利用が一般的に好まれる傾向があります。

Q14. 「こども誰でも通園制度」の月あたりの利用可能時間数は、何時間くらいがいいと思いますか。

- (1) 月10時間（週2.5時間）
- (2) 月20時間（週5時間）
- (3) 月30時間（週7.5時間）
- (4) 月40時間（週10時間）以上
- (5) 分からぬ

| 月あたりの利用可能時間数は何時間がよいか | 人数 | 割合  |
|----------------------|----|-----|
| 月10時間                | 6  | 9%  |
| 月20時間                | 32 | 47% |
| 月30時間                | 11 | 16% |

|         |    |      |
|---------|----|------|
| 月40時間以上 | 11 | 16%  |
| 分からぬ    | 8  | 12%  |
| 回答者数    | 68 | 100% |

【考察】 「月20時間」（47%）が最多の回答を得ましたが、「月30時間」（16%）や「月40時間以上」（16%）の需要も多く、より充実した利用枠の希望がありました。

Q15. 利用登録・事前面談・利用予約の手続きについて、感想を教えてください。

※（1）～（3）をすべて回答してください。

（1）利用の事前登録から「認定通知書」到着までの期間について

ア) 利用の事前登録から「認定通知書」が届くまで2週間程度かかるのは長い

イ) 利用の事前登録から「認定通知書」が届くまで2週間程度かかるのは問題ない

| 「認定通知書」到着までの期間 | 人数 | 割合   |
|----------------|----|------|
| 2週間程度かかるのは長い   | 24 | 35%  |
| 2週間程度かかるのは問題ない | 44 | 65%  |
| 回答者数           | 68 | 100% |

【考察】 「認定通知書到着まで2週間かかるのは問題ない」と回答した割合が65%と過半数を占めますが、35%の回答者は「長い」と感じており、手続きの迅速化が検討課題となります。

（2）事前面談について

ア) 事前面談をスムーズに行うことができた

イ) 事前面談のために、施設に行く必要があるのは面倒だった

ウ) まだ事前面談をしていないので、分からぬ

| 事前面談              | 人数 | 割合  |
|-------------------|----|-----|
| スムーズにできた          | 44 | 65% |
| 施設に行く必要があるのは面倒だった | 14 | 20% |

|      |    |      |
|------|----|------|
| 分からぬ | 10 | 15%  |
| 回答者数 | 68 | 100% |

【考察】 「スムーズにできた」が65%を占める一方、「施設に行くのは面倒だった」という回答も20%あり、事前面談時の負担軽減が一部利用者に求められています。

### (3) 利用予約の方法について

- ア) 利用予約は電話よりもネットなどで予約ができた方がよい
- イ) 利用予約を電話ですることに、不便さは感じない
- ウ) まだ利用予約をしていないので、分からぬ

| 利用予約の方法        | 人数 | 割合   |
|----------------|----|------|
| ネットで予約ができた方がよい | 36 | 53%  |
| 電話予約に不便さは感じない  | 20 | 29%  |
| 分からぬ           | 11 | 16%  |
| 未回答            | 1  | 2%   |
| 回答者数           | 68 | 100% |

【考察】 「ネット予約が望ましい」が53%と多数派であり、ネット予約サービスを求める声が目立つ結果となりました。一方、電話予約に「不便はなかった」とする割合も29%でした。

### Q16. 定期通園について、質問します。

「定期通園（毎週または隔週で、決まった曜日に時間を決めて通園する）」を利用したことがありますか。

- (1) ある
- (2) ない

| 定期通園の利用 | 人数 | 割合  |
|---------|----|-----|
| ある      | 6  | 13% |
| ない      | 40 | 87% |

|      |    |      |
|------|----|------|
| 回答者数 | 46 | 100% |
|------|----|------|

【利用ありの方のみ】 「定期通園」を利用した感想を教えてください（複数回答可）

- (1) 利用してよかったです (2) あまりよくなかった

| 定期通園を利用した感想 | 人数 | 割合   |
|-------------|----|------|
| 利用してよかったです  | 5  | 83%  |
| あまりよくなかった   | 1  | 17%  |
| 回答者数        | 6  | 100% |

(1) 利用してよかったことについて具体的に教えてください（複数回答可）

- ア) こどもにとってよかったです イ) 親にとってよかったです

| 利用してよかったこと    | 人数 | 割合   |
|---------------|----|------|
| こどもにとってよかったです | 4  | 80%  |
| 親にとってよかったです   | 4  | 80%  |
| 回答者数          | 5  | 100% |

(2) もしあれば、その理由を教えてください（自由記載。※Q5・6と同じ理由ならば

省略していただいて構いません。）

#### 【回答要約】

- ・親子共々、慣れやすい。人見知りが始まったが、定期的に通うことで早めに慣れたと思う。親は予定を組みやすい。その日を目標に日頃の家事育児を頑張れる。
- ・親も子どももリズムを作ることができた。毎週同じ曜日、同じ時間に通うことで時間と環境に慣れることができた。
- ・こどもも慣れて、楽しそうに行き、親はリフレッシュができていいです。

(2) あまりよくなかった 理由を教えてください（複数回答可）

- ア) 毎週決まった通園をするのは大変  
 イ) 1日あたりの在園時間が短くなる（月10時間の縛りがあるため）  
 ウ) 期待していた効果がなかった エ) その他

| よくなかった理由        | 人数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| 毎週決まった通園をするのは大変 | 1  | 100% |
| 1日あたりの在園時間が短くなる | 1  | 100% |
| 期待していた効果がなかった   | 0  | 0%   |
| その他             | 0  | 0%   |
| 回答者数            | 1  | 100% |

【考察】 定期通園の利用率は全体の13%と低調ですが、「利用してよかったです」が83%という高評価を得ています。親子ともに安定した環境が提供され、リズムを作りやすい傾向がみられます。一方、定期的な通園が大変という意見もありました。

Q17. 保育園・幼稚園等への入園前の子どもの育ちのために、どのようなことが必要だと思いますか。（複数選択可）

- (1) 子どもの経験を増やす機会 (2) 子育てに関する親の理解を深める機会
- (3) 子育ての仲間（ママ友など） (4) 子育てに関する相談の場
- (5) 3歳からではなく、2歳から幼稚園や認定こども園への通園を可能にする
- (6) 分からない (7) その他

| 入園前の子どもの育ちに必要なこと    | 人数 | 割合   |
|---------------------|----|------|
| 子どもの経験を増やす機会        | 62 | 91%  |
| 子育てに関する親の理解を深める機会   | 21 | 31%  |
| 子育ての仲間              | 14 | 21%  |
| 子育てに関する相談の場         | 36 | 53%  |
| 2歳から幼稚園などへの通園を可能にする | 25 | 37%  |
| 分からない               | 2  | 3%   |
| その他                 | 3  | 4%   |
| 回答者数                | 68 | 100% |

その他： 父親の子育てへの理解を深める父子教室(1件)、1歳（又は2歳）からの保育を無償化(2件)、集団生活に触れさせる(1件)

**【考察】** 「子どもの経験を増やす機会」が回答の91%を占めるなど、親子双方での新たな経験の重要性が強調される結果となっています。また、「相談の場」（53%）や「2歳からの通園」（37%）への期待も高く、多様なニーズが浮き彫りとなりました。

Q18. 幼稚園等への入園前の子どもの育ちに関して、不安に思っていることや悩んでいることがあれば教えてください（自由記載）

**【回答要約】**

- ① 集団生活への適応の不安
  - ・子どもが集団生活に慣れておらず、スムーズに楽しく通えるか心配
  - ・同年代の子どもとの交流が乏しく、集団生活の様子をイメージしづらかった
  - ・利用を通じて、集団生活への適応が可能か確認できる安心感を得た
- ② 言葉やコミュニケーションに関する悩み
  - ・言葉が未熟で周囲とのコミュニケーションが難しいため預けるのを躊躇していた
  - ・周りと話せず手がかかると思ったことで、通園させる不安があった
- ③ トイレトレーニング・イヤイヤ期対応
  - ・トイレトレーニングのタイミングがわからない
  - ・周囲の子どもたちの様子を見ながら進められることに期待
  - ・イヤイヤ期の対応方法を相談できる場が必要
- ④ 栄養管理・園内の環境への安心
  - ・保育園で昼食やおやつを提供してくれることで、栄養管理が助かる
  - ・園での怪我や誤嚥といった事故の可能性を懸念している
- ⑤ 育児相談や支援の不足
  - ・実家が遠方のため、子育てを相談できる人がおらず不安だったが、園が支援してくれる安心感を得た
  - ・育児休業復帰後、子どもの同年代の交流が難しくなるため、専業主婦家庭が気軽に利用できる仕組みが欲しい

**【考察】** 集団生活への適応、言葉やコミュニケーション、トイレトレーニングなど、保育開始前にに関する生活面や成長面での不安が多く挙げられています。栄養管理や育児相談に関する不安が、本制度により解消できたという意見もありました。

Q19. 「こども誰でも通園制度」全般について、ご意見があれば教えてください。（自由記載）

【回答要約】

① 利用時間や制度の柔軟性に関する要望

- ・預けたい時間や曜日を自由に選べる制度にしてほしい
- ・月の利用可能時間（10時間）が短すぎる、20時間程度に拡張してほしい
- ・送迎時間の負担もあり、利用時間を延長してほしい
- ・急な用事にも対応できる柔軟性が求められている

② 制度の心理的・精神的支援効果

- ・24時間子育てから解放される時間を持つことで、心の余裕を得られた
- ・通園を目標に育児と家事を頑張れるという声
- ・親が気力や体力を回復できる機会として制度に感謝
- ・育児負担軽減効果や虐待防止への貢献

③ 施設数や体制面への要望

- ・利用できる施設数を増やしてほしい
- ・自宅近くで利用可能な施設が限られている
- ・施設ごとに曜日や時間帯が固定されているのが使いにくい

④ 料金体系や一時預かりとの違いに関する意見

- ・一時預かりより割高感じる
- ・一時預かりとの違いがわかりにくいが、6ヶ月からの利用は便利
- ・追加料金が発生する給食やおやつなどの費用負担への言及
- ・一時預かりと違い、在園児の中に混ぜてもらうため、慣れるのが早く良かった

⑤ 栄養・給食・施設環境に関する要望

- ・同じ年齢の子どもと給食を食べる機会を増やしてほしい
- ・保育園での食事を体験できることへの期待

【考察】 利用時間の拡張要望が多数ありました。また、親のリフレッシュ効果や育児支援の役割が評価される声が多い中、施設数や料金体系に関する課題も寄せられました。